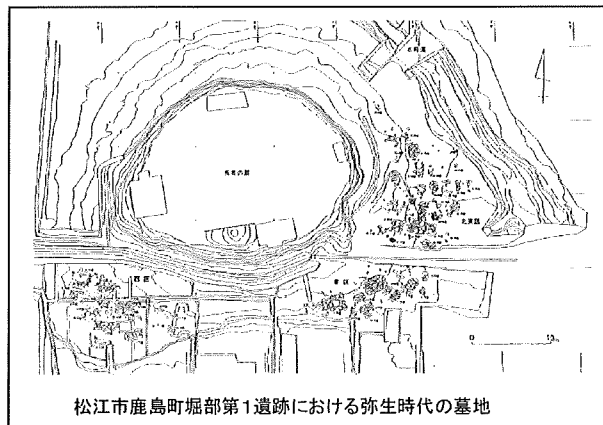
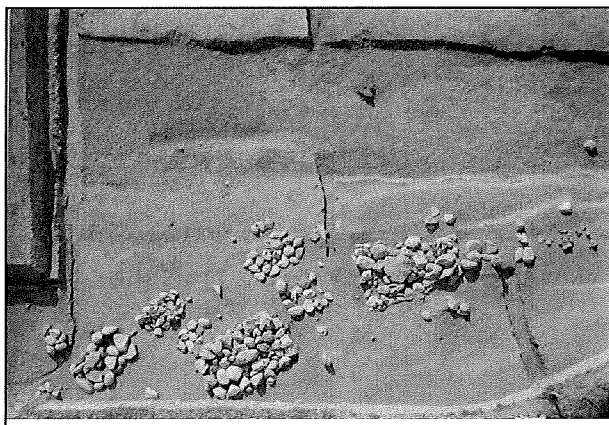
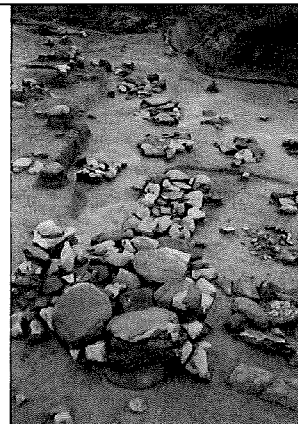


お墓にみる縄文時代から 弥生時代への移行

— 山陰地方を中心に —

国立歴史民俗博物館
山田 康弘

松江市鹿島町堀部第1遺跡における
列状配置の墓



松江市鹿島町堀部第1遺跡における弥生時代の墓地

墓にまつわる考古学用語

- ・ 墓制・葬制・埋葬
- ・ 墓地・墓域・墓群
- ・ 埋葬小群・埋葬区・分節構造
- ・ 単葬・一次葬・複葬・再葬・改葬・二次葬
- ・ 埋葬形態・葬法・埋葬方法
- ・ 研究者によって、使い分けや込められた意味が異なることが多い。

墓・葬制・墓制・葬法

- ・ 墓 : 死者の遺体が納められる場所およびその施設を指し示す語。施設に付随する様々な装置をも包含する。
- ・ 墓地と墓域: 墓が群在化しており、これが集落内において居住域と重複があったとしても空間的に区分されている場合、これを墓域と呼ぶ。また、墓群が居住域とは隔絶し単独で存在するような場合、これを墓地と呼ぶ。

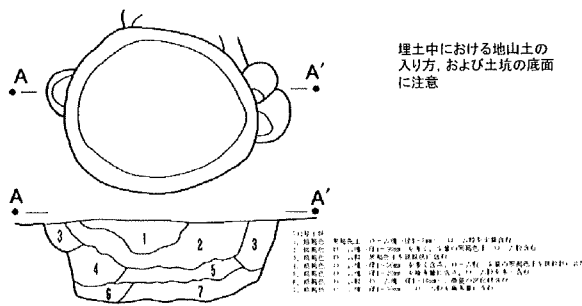
埋葬小群と墓域

- 墓域内における墓群の最小単位
＝埋葬小群(埋葬区)
- 墓が一定の限られた範囲に群在化する
＝埋葬小群の存在(＝墓域の存在)
- 埋葬小群と墓域の関係

墓の群在化＝埋葬小群 $\subseteq$ 埋葬群 $\subseteq$ 墓域

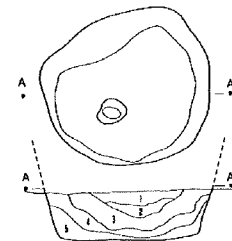
墓の認定方法

- 人骨出土例による基準の作成
→埋葬施設・土坑の規模や形状・埋葬姿勢等の属性の詳細な検討が必要。
- 遺構内から人骨が出土したもの。ないしはその痕跡が検出されたもの。
- 人骨出土例と比較して、土坑の規模や形状が墓として適当なもの。
- 土坑の上部や開口部周辺などに比較的整った配石をもつもの。
- 装身具や副葬品と推定される遺物が土坑内から出土したもの。



千葉県武土遺跡における人為的埋め戻しと思われる土坑の土層堆積状況

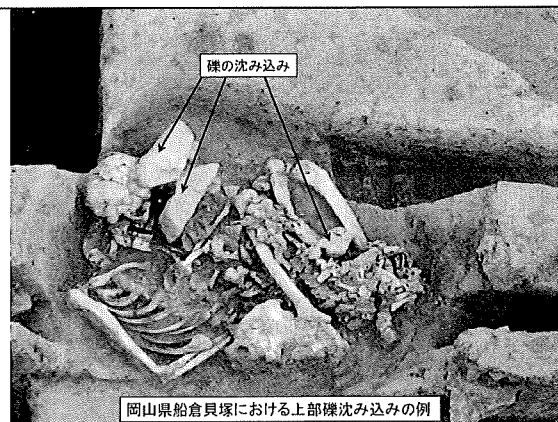
9



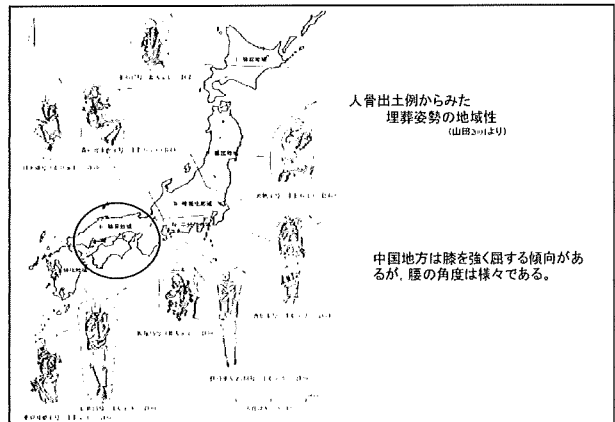
- 915号土坑
1. 黒褐色 極少量のローム塊(径1cm)含む 暗褐色土含む
 2. 黒褐色 ローム塊(径1cm)含む
 3. 暗褐色 ローム塊(径1~10mm)・暗褐色土多く含む
 4. 暗褐色 ローム塊(径1~20mm)多量に含む ローム粒含む
 5. 暗褐色 ローム塊(径3~50mm) ローム粒含む

千葉県武土遺跡における自然堆積と思われる土坑の土層堆積状況

10



岡山県船倉貝塚における上部礫沈み込みの例



中国地方各遺跡における 墓地のあり方

- 中国地方における縄文時代早期(11,000年くらい前)から晩期(2,700年くらい前)までの事例、28遺跡を取り上げて検討。
- 墓地の形成期間が限定される傾向があり、墓の造営・埋葬が長期にわたって継続したものがあるのかどうか、検討が必要。

